

日本観光研究学会・関西支部ニューズレター 写真：砂浜美術館 Tシャツ
アート展 (撮影：小長谷)

観光学

第3号 2014年度
(2015年3月発行)

JITR-Kansai
Japan Institute of
Tourism Research No.3



★日本観光研究学会・関西支部 (JITR-Kansai) ホームページ→【 <http://www.kankoryoku.jp/> 】
ニューズレター『観光学』第3号 2014年度 (2015年3月発行)

1. 平成26年度関西支部活動をふりかえって (支部長 吉兼秀夫)

平成26年度も関西支部は活発な活動を行なうことができました。特に高知県黒潮町の砂浜美術館研修大会を開催し、念願の四国での研究会を実現できました。今年は5月の意見交換会、2月の観光特別フォーラムでインバウンドを取り上げ、ともに多数の参加者を得て実りあるシンポジウムを開催できました。関西空港の外国人利用者が日本人を上回るなど海外旅行者の急増の中で関西の連携や受け入れ体制の課題も見えてきました。地区懇話会は西脇市で開催し、地域の宝を「地域のへそくり」と称してその活用法を検討しました。着地型観光が模索される中で、カスタマー目線やマスコミ目線を意識した独りよがりでない戦略の必要性も学ぶことができました。来年度も国外・国内客の受け入れとして責任の増す関西の観光の方向性を探るべく活発な活動を続けて参ります。



古代衣装によるおもてなしを実践する

2. 14年度 (平成26年度) の活動を振り返って (副支部長 国枝よしみ)

関西支部では、今年も順調に活動が行われました。5月の意見交換会でインバウンド観光が議論された後、2014年の訪日外国人数が過去最多の1341万4000人に上ったことは記念すべき事でした。6月の観光サロンでは、高知県黒潮町砂浜美術館理事長村上健太郎氏にご講演いただき、四国現地研修会とフォーラムが開催され、2月は兵庫県西脇市にて地区懇話会が行われました。今後でもできるだけ、多くの皆様が参加、研究いただける学会活動に努めて参りますのでご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。



3. 支部活動1『関西支部総会』+『第11回 意見交換会：関西から観光立国・立圏を考える』

【日時】2014年5月24日 (土) 総会11:00～、意見交換会13:00～17:00

【会場】阪南大学あべのハルカスキャンパス

【総会議案】2013年度活動報告および収支決算、2014年度活動計画および収支予算の承認

【意見交換会テーマ】「インバウンド観光を考える」

【意見交換会プログラム】(1) 特別講演：国土交通省近畿運輸局企画観光部長中村広樹氏「2013年度の観光行政と今後の取り組み」。(2) 基調講演：株式会社ジャパンインバウンドソリューションズ社長 中村好明氏「ドンキホーテ流観光立国への挑戦」。(3) パネルディスカッション「インバウンド観光を関西から考える」
○パネリスト：中村広樹氏 (国土交通省近畿運輸局企画観光部長)、中村好明氏 (株)ジャパンインバウンドソリューションズ社長)、山田英範氏 (ホテル中央グループ社長)、福本賢太 (日本観光研究学会関西支部幹事・神戸夙川学院大学教授・観光教育研究所長)、○コーディネータ：小野田金司氏 (神戸夙川学院大学教授・観光文化学部長)。(4) 意見交換：参加者との質疑応答、情報提供。(5) 交流会 (18:00～20:00)。



4. 支部活動2『地区懇話会』

【日 時】 2015年2月21日 (土) 12:00～まちあるき、14:00～基調講演・シンポジウム

【会 場】 兵庫県西脇市西脇区コミュニティセンター (西脇市西脇312-3)

【テ ー マ】「[にほんのへそ・西脇市]のへそくり(隠れた魅力)のつくり方」

【プログラム】(1) 12:00～13:50 ミニウォーク「旧来住家住宅、播州織工房館、町並み、Y字路、日替わりシェフレストラン(昼食)」。(2) 14:00～14:50 基調講演「地域のへそくりのつくり方・使い方」吉兼秀夫(阪南大学国際観光学部教授)。(3) 14:50～16:00 ミニシンポジウム○パネリスト 内橋治美(NPO北はりま田園空間博物館都市交流部長)、田中優子(株)リクルートライフスタイル事業創造部、リサーチセンター エリアプロデューサー)、後藤伸嘉(加西市商工観光課係長)、板場逸史(西脇市商工観光課主査)○コーディネータ：吉兼秀夫。(4) 16:30～17:30 懇親会(料理屋「はや鳥」(但馬百日鶏))。



5. 支部活動3「観光学研究部会」

(1) 第1回観光学研究部会

【日 時】 2014年9月30日 (火) 19:00～

【会 場】 大阪市立大学文化交流センター (梅田)

【テ ー マ】「観光による地域社会の再生ーオープン・プラットフォームの形成に向けて」

【講 師】 森重昌之 (阪南大学国際観光学部准教授)



(2) 第2回観光学研究部会

【日時】2014年10月28日 (火) 19:00～

【会場】大阪市立大学文化交流センター (梅田)

【テーマ】「持続可能な観光開発ーモン・サン・ミシエルの事例」

【講師】国枝よしみ (大阪成蹊短期大学観光学科教授)



6. 支部活動4「観光サロン」

(1) 第1回観光サロン

【日時】2014年6月24日 (火) 19:00～

【会場】大阪市立大学文化交流センター (梅田)

【テーマ】砂浜美術館の取り組み

【講師】村上健太郎氏 (NPO法人NPO砂浜美術館理事長) <中央写真は村上氏資料より>



7. 支部活動5『四国現地研修会・フォーラム』

【日時】2014年11月1日 (土)～2日 (日)

【場所】高知県黒潮町 (砂浜美術館)

【プログラム (11月1日 (土))】(1) 現地説明と砂浜美術館体験 岡本浩氏 (黒潮町産業推進室商工観光係長)、森田俊彦氏 (黒潮町観光ネットワーク会長)、村上健太郎氏・山崎悠氏・松下卓也氏 (NPO砂浜美術館)。(2) 防災学習プログラム体験。(3) 砂浜見学。(4) 意見交換会。(5) 懇親会 (漁家民泊)。

【プログラム (11月2日 (日))】(1) 砂浜ウォーキング&ビーチコーミング。(2)「四国の観光を考えるセッション」 橋本龍也氏 (幡多広域観光協会事務局長)、山下美枝子氏 (農家民宿かじか)、村上健太郎氏・松下卓也氏 (NPO砂浜美術館)。(3) 天日塩づくり体験 (ソルティープ)。=>★最終ページにも写真



8. 支部活動6 学会が主催または協力した関西における活動

(1) 観光特別フォーラムの共催『「関西のインバウンド戦略ー京都・大阪・神戸の戦略と広域連携の可能性」』

【日 時】2015年2月14日 (土) 13:00 ~

【会 場】神戸国際大学ミカエルホール

【特別講演】『観光立国における関西への期待』日本旅行業協会会長 (株)ジェイティービー代表取締役会長 田川博己氏

【基調講演】『観光庁のインバウンド政策と将来展望』国土交通省近畿運輸局企画観光部長 中村広樹氏

【パネルディスカッション】『京都・大阪・神戸の戦略と広域連携の可能性』○パネリスト：糠谷範子氏 (京都市観光政策監)、加納國雄氏 (大阪観光局局長)、山本猛氏 (神戸市産業振興局シティセールス担当局長)、国枝よしみ氏 (大阪成蹊短期大学教授)。○コーディネータ：桑田政美 (日本観光研究学会前会長、神戸国際大学教授)、○総合司会：吉兼秀夫 (日本観光研究学会副会長、阪南大学教授)。



(2) 後援と協力『日本ーカナダ観光ワークショップ』

【日 時】2015年2月28日 (土) 13:30 ~

【会 場】神戸国際大学

【内 容】○司会：前田武彦 (神戸国際大学教授)、ゲスト：Gordon Kadota (BC州観光促進協会理事)、討論者：桑田政美 (神戸国際大学教授)。

9. 支部活動7 関西支部幹事会開催記録 (2014年度)

第1回 2014年4月22日 (火) 18:30 ~ 会場：大阪市立大学交流文化センター (梅田)

第2回 2014年5月27日 (火) 18:30 ~ 会場：大阪市立大学交流文化センター (梅田)

- 第3回 2014年6月24日 (火) 18:00～ 会場：大阪市立大学交流文化センター (梅田)
第4回 2014年7月22日 (火) 18:30～ 会場：大阪市立大学交流文化センター (梅田)
第5回 2014年9月30日 (火) 18:00～ 会場：大阪市立大学交流文化センター (梅田)
第6回 2014年10月28日 (火) 18:00～ 会場：大阪市立大学交流文化センター (梅田)
第7回 2014年11月25日 (火) 18:30～ 会場：大阪市立大学交流文化センター (梅田)
第8回 2014年12月22日 (月) 18:30～ 会場：大阪市立大学交流文化センター (梅田)
第9回 2015年1月27日 (火) 18:30～ 会場：大阪市立大学交流文化センター (梅田)
第10回 2015年2月24日 (火) 18:00～ 会場：大阪市立大学交流文化センター (梅田)
第11回 2015年3月24日 (火) 18:30～ 会場：大阪市立大学交流文化センター (梅田)

10. 支部活動8 NPO法人「観光力推進ネットワーク・関西」の支援と協働

(1) NPO法人「観光力推進ネットワーク・関西」報告にあたり (理事長挨拶)

「今年を振り返って」NPO法人観光力推進ネットワーク・関西 理事長 桑田政美

2014年6月から理事長を引継ぎ、従来の事業を踏襲しつつ学生連絡協議会活動の活発化に取り組みました。観光人材の育成は日本の観光業界の大きな課題の一つです。大学を越えて観光を学ぶ学生たちが交流を深めることは、国際交流の場面でも生かせるに違いありません。今年度は役員の皆様のお蔭で新たな事業も立ち上げることができました。NPO観光力ネットを支えるのは会員のネットワークと学生の熱い思いです。NPOとしての課題は多々ありますが、日本観光研究学会関西支部との連携を密にはかりながら次年度も活動してまいります。ご支援ご協力よろしくお願いいたします。



(2) NPO法人「観光力推進ネットワーク・関西」報告にあたり (副理事長挨拶)

「今年を振り返って」NPO法人観光力推進ネットワーク・関西 副理事長 森山正

NPO観光力推進ネットワーク・関西は2004年の設立以来、観光を軸に地域コンサルティングや教育講座、エコ活動など活発な事業活動を行ってきました。今年度は、学生の能力開発とキャリア支援を新規の活動プログラムに加え実施しました。学生研究発表会と就活サポートの二つです。前者は関西の4大学が参加し10本の研究発表が行われました。レベルの高い成果発表が続き、潜在能力への気づきや開発にとって重要な機会となりました。また、就活サポート講座は企業人事の視点からみた実戦的なサポート講座で、自己の強みの発見と活用方法の習得は今後の就活に生きると思います。今後も積極的な活動を行います。



(3) 第9回「地域創造のための観光マネジメント講座」の開催

【日時】2015年1月10日、1月24日、1月31日、2月7日の4日間

【会場】阪南大学あべのハルカスキャンパス

【ステップ1：地域創造型観光の基盤：地域資源の再発見と再評価の方法】第1回1月10日(土) 9:30～11:00「地域資源活用の第1歩：「エコミュージアム」の方法」阪南大学教授 吉兼秀夫、第2回1月10日(土) 11:10～12:40「制度の活動と資金の調達」立命館大学教授 金井萬造、第3回1月10日(土) 13:30～15:00「持続可能な観光運営の方法」京都嵯峨芸術大学教授 真板昭夫、第4回1月10日(土) 15:10～16:40「ワークショップ 机上の宝探し演習」阪南大学教授 吉兼秀夫

【ステップ2 地域創造型観光の計画：地域資源の観光への活用方法】第5回1月24日(土) 9:30～11:00
「プロモーションとイベントの活用方法」神戸国際大学教授 桑田政美、第6回1月24日(土) 11:10～12:40
「ホスピタリティを実現するには」摂南大学准教授 野村佳子、第7回1月24日(土) 13:30～15:00「観光と
情報・メディア」神戸夙川学院大学准教授 原一樹、第8回1月24日(土) 15:10～16:40「地域創造型観光
のマーケティング演習」阪南大学准教授 清水苗穂子

【ステップ3 地域創造型観光の運営：事業継続の方法】第9回1月31日(土) 9:30～11:00「マーケティング/
顧客満足と従業員満足」神戸夙川学院大学教授 森山正、第10回1月31日(土) 11:10～12:40「観光マネジメン
トとまちづくり」地域計画建築研究所研究主査 小阪昌裕、第11回1月31日(土) 13:30～15:00「着地型観光の
担い手」地域計画建築研究所部長代理 高田剛司、第12回1月31日(土) 15:10～16:40「地域創造型観光のマ
ネジメント」大阪市立大学大学院教授 小長谷一之、第13回2月7日(土) 13:00～17:30「プレゼンテーション」
(講師全員)、受講者は地域創造型観光のプロジェクト計画書を作成し、受講者全員でミニ・プレゼンテーション。

(4) 学生連絡協議会の応援

【学生連絡協議会(学連協)からの報告】

- 1) 学生連絡協議会総会【実施日】2014年2月13日(木) 13:00～17:00。①2014年度 事業報告、②
役員引継ぎ・就職懇談会、③意見交換会「インバウンド観光」についての講演会に参加。②役員引
継ぎ、顔合わせ、意見交換。前会長から就職活動での取り組みを聞く。また、森山正教授による人事目
線からの就職に対する姿勢を聞く。新役員を含む顔合わせ、これから活動についての打ち合わせを行う。
③国土交通省近畿運輸局企画観光部長、中村広樹氏による観光に関する各種のデータ、取り組みについ
ての講演を聴く。また、株式会社ジャパンインバウンドソリューションズ社長 中村好明氏による講演で
はドンキホーテで行っている顧客獲得の方法などを学ぶ。
- 2) 2014年度第1回観光サロン「砂浜美術館の取り組みについて」に参加【実施日】2014年6月24日
(火) 19:00～21:00 NPO砂浜美術館理事長 村上健太郎氏の話聞き、砂浜美術館とは何か？砂浜美
術館の取り組みについて知る。また、高知県で行われているさまざまな取り組みを映像で見るとともに、
意見交換などを行った。
- 3) 「歴史文化体験～座禅・着付け・伏見稲荷大社参拝～」【実施日】2014年8月11日(月) 10:30～17:00 前
日の台風の影響で電車が遅れるというハプニングはあったものの、問題なくスムーズに進んだ。東福寺塔頭・
退耕庵で座禅体験。心を静かにし、普段は気にしない呼吸にも意識をしつつ煩惱をなくす。着付けを行い伏
見稲荷大社参拝。伏見稲荷大社は千三百年の歴史をもち、重要文化財にも指定されている。また、“行って
よかった外国人に人気の日本の観光スポット2014”で第一位を受賞しており、外国人の人気も高い。この日
も多くの外国人が参拝しており、一緒に撮影するなど異文化交流もできた。=>★最終ページにも写真



- 4) 「エコ活動：植林 in 六甲山 ～ブナを植える会～」【実施日】2014年11月9日 (日) 9:00～17:00 朝から小雨が降っており、作業時間が短くなってしまったがモミジやカエデなどを植えることができた。年間を通しての活動になるので、参加者を増やしていきたい。六甲山は身近にある山なので植林をすることで山の状態を少しでも良くなるよう力を入れて取り組んでいく。



- 5) 観光力推進ネットワーク関西・学生連絡協議会「就活セミナー」(講師：森山先生)【実施時期 (4回連続講座)】2014年11月22日 (土)、11月29日 (土)、12月13日 (土)、12月20日 (土)。いずれも土曜夕方16:00～18:00 企業人事担当者や内定者との懇談を予定。【会場】阪南大学あべのハルカスキャンパス (ロビーまたはセミナー室)。【対象】現3年生。第1回「企業人事の採用戦略を理解する～」正社員と非正社員。新卒採用者に求める能力とは？第2回「自己の強み発見」大学4年間での活動を思い返し、自分自身の強みとは何か？を探る。自己紹介文、自己PRに繋がるキーワードを連想していく。社会人能力とは。第3回「自己の強みの実践的活用法」自己の強みを見つけ、ESに書く内容決め。第4回「ズバリ！勝てる就活～」USJ現人事部の方にお越しいただき、採用者視点からの意見を聞く。
- 6) 観光力推進ネットワーク関西・学生連絡協議会「第1回学生研究発表会 (2014年度)」【日時】2015年2月12日 (木) 13:00～18:30。【会場】阪南大学あべのハルカスキャンパス。以下のプログラムで開催され、大会場でのべ約60名の参加があり、各自、熱のこもった発表が続きました。【プログラム】桑田政美理事長 開会挨拶。学生連絡協議会桑島副会長 挨拶。発表1「観光コンテンツとしての「昭和」の可能性」(神戸国際大学：里幸樹、中本千博、藤本英三、安藤広真)。発表2「旅行会社におけるスポーツツーリズムの現状と課題」(阪南大学：市原玲奈、上谷侑実、外記優美、西岡優斗、山本歩)。発表3「大学生の旅行の現状研究～近畿日本ツーリストとの共同研究～」(阪南大学：中川光華、奥田輝人、倉本篤、鈴木成美、南垣春菜)。発表4「外資系ホテルのマーケティング戦略の調査・研究～大阪市内の事例から～」(阪南大学：大上愛、松本莉里香、森崎萌)。発表5「テーマパークにおける顧客満足とホスピタリティの関係性」(神戸夙川学院大学：梶川里紗子、亀岡歩美、重森麗、濱野絵里加)。途中休憩。発表6「顧客満足と従業員満足の関係性の研究～USJの事例から～」(阪南大学：西野ありさ、中本マリー、川原義惟)。発表7「USJの集客戦略についての研究」(神戸夙川学院大学：福井志織、福地桃子、前久紗槻)。発表8「今後のプライダル戦略についての研究～和文化への注目～」(阪南大学：森田伊織、中山詩保、桧垣一葉、山西香菜、佐藤大将、辻彩佳)。発表9「南太平洋における観光戦略～ニュエ島における観光戦略～」(大阪成蹊短期大学：藤並優衣、渡辺咲月)。発表10「ゆるキャラと地域振興」(神戸国際大学：矢野詩織、玉城勝海、堀江祐至)。審査委員会、学生連絡協議会賞集計作業。表彰式。審査員長講評。日本観光研究学会関西支部長 吉兼秀夫 閉会挨拶。=>★最終ページにも写真

11. 支部新年度の予定 2015年度「関西支部総会・意見交換会、観光力推進ネットワーク関西総会」を2015年5月23日 (土) に開催予定、会場は阪南大学新サテライトを予定。

10. 支部活動8 (4) NPO学連協応援 6)
 学生研究発表会2015年2月12日 (木)



7. 支部活動5『四国現地研修会』2014年
 11月1日 (土) ~ 2日 (日)



10. 支部活動8 (4) NPO学連協応援
 3)「歴史文化体験~座禅・着付け・伏見稲荷
 大社参拝~」2014年8月11日 (月)



日本観光研究学会・関西支部
 (JITR-Kansai) ニュースレター
 『観光学』第3号 (2014年度)
 発行：2015年3月10日
 発行人：吉兼秀夫
 編集人：小長谷一之
 【事務局】阪南大学国際観光学部
 森重研究室気付 〒580-0033
 大阪府松原市天美南1-108-1
 Email: gakkai@kankoryoku.jp
 (事務局森重)